

P 〔単元の目標〕

- ・発音や語尾と語頭の発音のつながり、アクセントなどの英語の特徴を意識しながら音読することができる。
- ・物語の内容や世界観を伝えるために、間をとったり、抑揚をつけたりするなどの工夫をしながら音読することができる。

D 〔単元の目標の達成に向けた手立て〕

	手立て	資料
①	1人1台端末を用いて、模範音読を繰り返し聞かせ、英語の特徴や読み方の工夫をワークシートに記入させ、「見える化」し、友達と交流させることで、英語の特徴や読み方の工夫に対する理解を深める。	
②	1人1台端末を用いて、模範音読を追いかけながら発音する音読練習や、英文の意味のまとまりごとに音読しながら日本語に訳す練習をさせることで、英語らしい間の取り方や複数の英単語のまとまりを意識した読み方ができるようにする。	
③	1人1台端末を用いて、自身の音読を録音し、模範音読と比較させたり、ALTに添削してもらったりすることで、より自然な英語の話し方ができるようにする。	

C

〔単元の目標の達成状況〕

- ・生徒全員が、thやrの発音、語尾や語頭の発音のつながりやアクセントなどの、英語の特徴を意識しながら英語を話そうとしていた。
- ・半数程度の生徒が、英語の特徴について理解を深め、音読以外の機会でも、以前よりも英語らしく英語を話せるようになった。

A

〔改善の方向性〕

- ・音読指導からコミュニケーション力の育成につなげるための指導・支援を充実させる。
⇒ ALTを活用し、生徒に学習項目の使用場面をイメージさせる場を豊富に設ける必要がある。

単元の目標の達成に向けた手立ての具体

- ① 1人1台端末を用いて、模範音読を繰り返し聞かせ、英語の特徴や読み方の工夫をワークシートに記入させ、「見える化」し、友達と交流させることで、英語の特徴や読み方の工夫に対する理解を深める。

〔生徒の活動〕

- 模範音読を繰り返し聞き、気付いた英語の特徴や読み方の工夫をワークシートに記入する。
- 自身がまとめたワークシートを友達同士で交流する。

〔教師の指導〕

- 注意するポイントや、模範音読と比較すべきポイント、見やすいワークシートの書き方を大まかに提示する。
- なぜその特徴や工夫を記入したかや、自分が意識して発表したいことを説明するよう促す。

〔工夫点〕

- 生徒が自分で気付いたり考えたりできるように、教員は繰り返し聞くことを促す。
- 自身の考えを伝えることで自身の考えを明確にしたり、友達のを聞き、新たな考えに気付いたりできるようにする。

単元の目標の達成に向けた手立ての具体

② 1人1台端末を用いて、模範音読を追いかけながら発音する音読練習や英文の意味のまとまりごとに音読しながら日本語に訳す練習をさせることで、英語らしい間の取り方や、複数の英単語のまとまりを意識した読み方ができるようにする。

〔生徒の活動〕

- 模範音読を追いかけながら発音する音読練習する。
- 複数の英単語のまとまりごとの日本語訳の音声を聞き、それを英語にする。

〔教師の指導〕

- 区切りやリズム、イントネーションを意識して取り組むように促す。
- 日本語と英語の意味の切れ目、語順を意識するように促す。

〔工夫点〕

- はじめは不完全な音読練習になっても構わないことを伝え、ミスを恐れず積極的に取り組ませる。
- どの文が言えるようになったかを記入させるなど、成長と達成感を感じさせながら取り組ませる。

単元の目標の達成に向けた手立ての具体

- ③ 1人1台端末を用いて、自身の音読を録音し、模範音読と比較させたり、ALTに添削してもらったりすることで、より自然な英語の話し方ができるようにする。

〔生徒の活動〕

- 自分の音読を録音して確認したり、模範音読と比較したりする。
- 教員やALTに、音読を録音したデータを提出し、後日、直接もしくは用紙でアドバイスをもらい、改善に向けて練習する。

〔教師の指導〕

- 自分の音読を確認する際に注意するポイントや、模範音読と比較するポイントを大まかに提示する。
- それぞれのワークシートに改善点や注意する点を書き込み、生徒に配付する。

〔工夫点〕

- 生徒が自分で気付いたり考えたりできるように、ポイントに沿って繰り返し自分の音読を聞くよう促す。
- 自分の音読を聞きながら何度も改善点を確認させることで、英語の特徴に気付かせ、主体的に学習に取り組むよう促す。